

2025年度後期 開講学科別集計結果表

常葉大学

開講学科	造形学科	履修者数	782
------	------	------	-----

回答者数	443
------	-----

学年 マーク	回答者数／構成比 (%)				
	1年	2年	3年	4年	無効回答
	202	165	59	17	0
	45.6	37.2	13.3	3.8	0.0

No.	設問文	平均	回答者数／構成比 (%)					有効 回答	無効 回答
			5	4	3	2	1		
			とても そう思う	やや そう思う	どちらとも いえない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない		

▼全学部共通の質問項目

1	学修環境（プロジェクタ・音響・空調・照明・静粛性）は良好であった	4.47	252 57.3	154 35.0	22 5.0	12 2.7	0 0.0	440	3
2	クラスサイズ（受講者数）やグループサイズは適切であった	4.50	265 59.8	143 32.3	27 6.1	8 1.8	0 0.0	443	0
3	周りの学生の熱意が感じられた（熱心に授業に参加していた）	4.18	181 41.0	176 39.8	69 15.6	15 3.4	1 0.2	442	1

▼学部レベルの質問項目

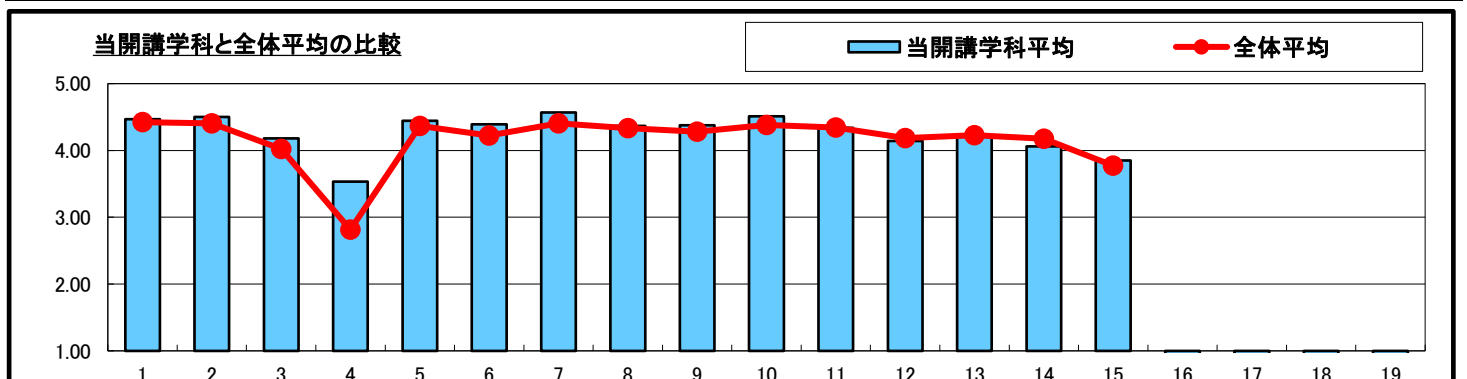
4	この授業に対する授業時間外学修にどの程度の時間を費やしましたか（1回の授業の前後）	3.53	2時間以上 150 34.0	1時間以上 2時間未満 85 19.3	30分以上 1時間未満 100 22.7	30分未満 62 14.1	全くして いない 44 10.0	441	2
5	シラバスに則した内容の授業が行われていた	4.45	242 55.0	158 35.9	34 7.7	6 1.4	0 0.0	440	3
6	この科目の難易度は適切であった	4.39	228 51.8	166 37.7	37 8.4	8 1.8	1 0.2	440	3
7	この科目は学部・学科の学びを深める上で有益であった	4.57	298 67.3	108 24.4	29 6.5	6 1.4	2 0.5	443	0
8	この科目は自らのキャリア形成や将来を考える上で役立った	4.37	237 53.6	151 34.2	38 8.6	11 2.5	5 1.1	442	1
9	【対面授業の場合】 この科目は対面で受講することが適切であった 【ポータルサイト等を活用した授業（オンライン授業）の場合】 この科目はオンラインで受講することが適切であった	4.37	247 55.8	141 31.8	38 8.6	8 1.8	9 2.0	443	0

▼教員個人レベルの質問項目

10	教員の話し方は明瞭で聴き取りやすかった	4.51	275 62.2	130 29.4	27 6.1	8 1.8	2 0.5	442	1
11	板書、スライド、配布資料などは適切であった	4.34	238 53.7	141 31.8	44 9.9	16 3.6	4 0.9	443	0
12	学生に質問や意見を求める、発表の機会を設けるなど授業への参加を促していた	4.14	191 43.2	152 34.4	76 17.2	17 3.8	6 1.4	442	1
13	学生の反応や理解を確認しながら授業を展開していた	4.21	195 44.2	165 37.4	61 13.8	17 3.9	3 0.7	441	2
14	必要に応じて学生の受講態度への注意を適切に行っていた	4.06	171 38.7	154 34.8	93 21.0	20 4.5	4 0.9	442	1
15	この授業のシラバスを読みましたか	3.85	十分に 読んだ 122 27.5	よく読んだ 194 43.8	どちらとも いえない 80 18.1	ほとんど 読まなかった 32 7.2	全く読んで いない 15 3.4	443	0

▼学科設問

16		-	0	0	0	0	0	0	443
17		-	0	0	0	0	0	0	443
18		-	0	0	0	0	0	0	443
19		-	0	0	0	0	0	0	443



2025 年度後期授業アンケート 学科別集計結果表に対する講評

学科／課程	造形学科
講評者	造形学科長 山本浩二

設問	講評
設問 1～3 「全学部共通の質問項目」について	学修環境、クラスサイズ、グループサイズは5の回答が6割近くあり、概ね適切であったといえる。学生の取り組み熱意について、大学全体の傾向と同様熱意を感じられない人も見受けられる様子である。5と回答した人が大学全体だと35.7%であるのに対して造形学科で46.3%と大幅に上回っており、専門性が高い造形学科が開設している授業に対する熱意を持っていることが窺える。
設問 4～9 「学部レベルの質問項目」について	時間外学修について、2時間以上と回答した人の割合が36.9%であり、大学全体の10.7%を大きく上回っており、自宅で課題等に費やす時間が多いことがわかる。シラバスに即した授業が行われており、難易度も適切である。学部・学科の学びを深めることに有益であったとの回答については5が69.5%と非常に高く、満足度が高いという結果となっている。自らのキャリア形成や将来を考える上で役だったという回答も5と4で9割となっている。
設問 10～15 「教員個人レベルの質問項目」について	教員の話し方は明瞭だと感じている人は5でほぼ7割であり、若干不満を示す人が見られたが板書・スライド・資料配布も概ね適切であった。学生の反応や理解を確認しながら授業を行なっているかという設問に対しては1と2の回答率が0.4%となっており、理解できていない学生に対して完全にフォローできてはいないようである。。シラバスを読んだかという設問は大学全体と同様、ほとんど読まなかったか読んでいないという回答が1割を超えている。
設問 16～ 「学科設問」について（該当学科のみ）	